

科目名		呼吸系疾患			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	救急救命士科1年		必修・選択	必修

## 〔授業の目的・ねらい〕

呼吸器の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に理解する。

## 〔授業全体の内容の概要〕

テキストに準じた講義。

## 〔講師の実務経験〕

## 〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

呼吸器の解剖・生理と主な呼吸系疾患(上気道～下気道、肺胞、感染症、胸膜疾患)について理解できる。  
その他、呼吸系疾患(肺血栓塞栓症、過換起症候群等)について理解できる。

回数	講義内容
1	呼吸器疾患 総論
2	〃
3	呼吸不全をきたす疾患
4	上気道の疾患、下気道と肺胞の疾患(気管支喘息)
5	下気道と肺胞の疾患(COPD、気管支拡張症)
6	下気道と肺胞の疾患(無気肺)・感染症(肺炎)
7	感染症(肺結核)・胸膜疾患(気胸)・その他の呼吸系疾患(肺血栓塞栓症)
8	その他の呼吸系疾患(過換起症候群、ARDS、間質性肺炎)
	定期筆記試験

## 【 準備学習・時間外学習 】

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
救急救命士標準テキスト下巻		へるす出版
病気がみえる 呼吸器		メディックメディア

## 【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

終講時試験。履修規定に準じる。